

前立腺摘除術を受ける方の入院診療計画書

主治医： _____

入院日： ____月 ____日

様

受持看護師： _____

病棟： ____棟 ____階 病棟責任者 _____

1/2

病状説明：前立腺癌を認めます。手術にて前立腺を摘出します。 入院期間は約2週間です。		退院基準：日常生活に支障がない程度に尿禁制が保たれる。 発熱がない。創部痛が内服薬でコントロールできる。 創部に異常(著明な腫脹・出血・感染・離脱)がない。 退院後の生活について理解できる。		
検査 治療 処置	外来及び手術前 ●血液検査 ●胸部・腹部レントゲン撮影 ●心電図検査 ●肺機能検査 ●動脈からの採血 (血液中の酸素濃度を調べます。) 上記の検査を行います。 	入院・手術前日(/ /) ●リストバンドをつけます。 ●身長・体重を測定します。	[前] 手術当日(/ /) [後] ●朝7時頃、浣腸を行います。 ●手術後は手術直後・30分後・1時間後・2時間後・6時間後と必要時に体温・脈拍・血圧を測定します。 ●酸素・心電図モニター・血液中の酸素濃度を測る機器を指につけます。 ●血液循環を良くするため、足にフットポンプを着けます。 ●採血があります。 ●尿管を身体に固定して、水で持続的に洗浄します。 ●手術後は24時間持続的に点滴をします。 ●痛みがある時は痛み止め、熱がある時は解熱剤を使うことがあります。 ●吐き気があれば看護師にお知らせ下さい。 	術後1日目(/ /) ●体温・脈拍・血圧を1日3回測ります。 ●酸素・心電図モニターをはずします。 ●血液検査とレントゲン撮影があります。 ●フットポンプを外します。 ●持続洗浄は血尿の程度により、中止します。 ●朝と夜に抗生剤の点滴があります。  
薬剤	●普段内服している薬がありましたら、お知らせ下さい。 ●脳梗塞や心臓の病気・血液の病気などで血液が固まりにくくなる薬などは必ず申し出て下さい。 	●夕食後にコップ1杯の下剤をお飲みください。	●主治医と看護師と歩いて、手術室へ行きます。	●歩行できます。
安静度	●普段通りの生活ができます。	●病院内自由に歩行できます。	●ベッド上安静です。 ※寝返りはできません。	●歩行できます。
リハビリ テーション	●仰向きで深呼吸の練習をして下さい。		●目が覚めたら深呼吸をして下さい。	●看護師(及び理学療法士)によるリハビリテーションを開始します。 ※ベッドを起こして坐る →背もたれなしで坐る →ベッド柵を持って立つ →ベッドの周囲を歩く →部屋の中を歩く →病棟内を歩く
排泄	●制限はありません。		●手術中に尿管が入ります。	
清潔	●入浴できます。	●手術する部位の毛を剃り、お臍の掃除をします。 その後、シャワー・シャンプー・爪切りを済ませて下さい。 	●起床後必ず、洗面・歯みがき・髭剃りをして下さい。 ●油分の多いクリームをつけたりしないでください。 ●時計、アクセサリー、入歯など外せるものは全て外して下さい。	●リハビリ室で体を拭き、パジャマに着替えます。(看護師が行います。)
食事 栄養管理	●手術前後の経過について説明します。(主治医) ●特別な栄養管理(有/無) ●病棟の案内をします。 ●手術前後の経過について説明します。(看護師) ●麻酔科医による診察があります。 ●薬剤師の訪問があります。 ●手術室看護師の訪問があります。 ●理学療法士から、リハビリテーションの説明があります。 ●眠れない時には、看護師にお知らせ下さい。 	●食事は夕食まで食べられます。 ●水分は十分にとって下さい。 ●食事は朝から食べられません。 ●水分は(お水・お茶)、(時)までは飲みます。 それ以降は飲まないで下さい。	●手術室に入室する30分前に、うがいと排尿を済ませて下さい。 ●手術着に着替えます。	●回診後に水分の許可がでます。 ●昼より全粥がはじまります。 (食事の開始は遅れることがあります。) 
説明 指導 教育	●手術前後の経過について説明します。(主治医) ●特別な栄養管理(有/無) ●病棟の案内をします。 ●手術前後の経過について説明します。(看護師) ●麻酔科医による診察があります。 ●薬剤師の訪問があります。 ●手術室看護師の訪問があります。 ●理学療法士から、リハビリテーションの説明があります。 ●眠れない時には、看護師にお知らせ下さい。 	●手術室に入室する30分前に、うがいと排尿を済ませて下さい。 ●手術着に着替えます。	●大切な管がたくさん入っています。抜かないように気をつけましょう。 ●手術後はリハビリ室に、入室していただきます。 ●痰は飲み込まずに出して下さい。 ●転倒・転落等の不測の事態を避けるためベッド柵が取付られています。	●主治医の診察の後、リハビリ室から個室へ移動します。
<手術に必要な物品> <input type="checkbox"/> 前開きのパジャマ1組 <input type="checkbox"/> 入れ歯入れ(必要時) <input type="checkbox"/> 下着1枚 <input type="checkbox"/> 内服薬 <input type="checkbox"/> タオル1枚 <input type="checkbox"/> 腹帯2枚 <input type="checkbox"/> ティッシュ1箱 <input type="checkbox"/> コップor水のみ (割れないもの) <input type="checkbox"/> 歯磨きセット ※ 1つずつに名前を書いて下さい。 ※ 手術前日に看護師が確認します。 ※ 手術当日にお預かりします。		※手術室に入室する時刻 (時 分の予定) ※手術中、ご家族はA棟5階の食堂でお待ち下さい。 席をはずされる場合は詰所窓口まで声をかけて下さい。(個室の方は個室でお待ち下さい。)		※ご家族の方へ主治医から手術結果の説明があります。看護師が案内します。 ※ご家族の方の面会はリハビリ室にて行います。 少人数・短時間でお願ひします。

※この用紙は入院時に必ずお持ちください。

前立腺摘除術を受ける方の入院診療計画書

	術後2日目 (/)	術後3日目 (/)	術後4日 (/)	術後5・6日 (/) (/)	術後7日 (/)	術後8日 (/)	~ (/) 退院日
検査 治療 処置	●体温・脈拍・血圧を 1日3回測ります。 ●傷の観察をします。	●体温・脈拍・血圧を 1日1回測ります。 ●採血があります。 		●ドレーンを抜きます。 (前後することがあります。)	●創部の状態により、 半抜糸(鉤)をします。 ●採血があります。 	●創部の状態により、 残抜糸(鉤)をします。	
薬剤	●24時間持続的に 点滴があります。 ●抗生剤の点滴が 朝と夜にあります。	●抗生剤の飲み薬が 始まります。(5日間)					
安静度	●歩行できます。		●制限はありません。 積極的に歩きましょう。				
リハビリ テーション	●看護師(及び理学療法士)による リハビリテーションを行います。						
排泄	●尿に管が入っています。				●膀胱造影の検査を行い 問題なければ、尿の管を 抜きます。 ●自分で排尿できます。		
清潔	●身体を拭きパジャマを 着替えます。	●髪を洗います。	●足を洗います。	●傷の状態により シャワーに入ることが できます。 			●退院療養計画書をお渡します。 ●退院後の生活についての 説明があります。(医師・看護師) ●退院処方をお渡しします。 ●手術後の経過と手術時に提出した検査の 結果をお話します。(医師) ※後日外来での説明になることもあります。 ●必要時、薬剤師よりお薬の説明があります。 ●退院までに、栄養士から食事の話があります。 
食事 栄養管理	●朝より普通食です。	●制限はありません。					
説明 指導 教育			●尿管を抜いた後、 排尿日誌をつけてもらいます。 		●尿管が抜けた後、しばらくは 排尿時の痛みや尿漏れが あります。 ●尿漏れがある時は、パットを 購入し、使用して下さい。 ●骨盤底筋群体操を始めます。 (別紙用紙をお渡しします)		

上記内容について説明を受けました。 お名前 _____ (署名) 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日/説明した看護師：